

令和3年度第1回北斗市総合教育会議（概要）

日時：令和3年11月17日（水） 13：30～

会場：北斗市役所3階 第4委員会室

●出席者

○北斗市総合教育会議委員

北 斗 市 長 池 田 達 雄
教 育 長 永 田 裕
教 育 委 員 長 内 克 磨
教 育 委 員 村 上 久 美 子
教 育 委 員 伊 藤 恵 子
教 育 委 員 福 地 智
教 育 委 員 三 ツ 石 茂 之

○事務局・説明員

副 市 長 工 藤 実
総 務 部 長 出 口 弘 幸
教 育 次 長 梅 田 一 生
特 命 担 当 教 育 次 長 八 木 橋 直 弘
学 校 教 育 課 長 京 谷 亨
社 会 教 育 課 長 佐 藤 毅
学 校 給 食 共 同 調 理 場 所 長 畑 山 弘 司
企 画 課 長 楠 川 修

●資料

- ・資料1 北斗市教育大綱（改定案）
- ・資料2 現北斗市教育大綱
- ・資料3 事務事業の点検及び評価報告書
- ・資料4 子ども家庭総合支援拠点について

1 開会

2 市長あいさつ

○ 池田市長より開会のあいさつ

皆様、こんにちは。令和3年度第1回北斗市総合教育会議の開催にあたり、委員の皆様におかれましては、大変お忙しいところ当会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、平素より北斗市の教育の推進におきましてご尽力いただいていることに、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

皆様ご承知のとおり、総合教育会議は地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、平成27年4月1日以降、全ての地方公共団体に設置が義務付けられたものであり、会議の第1の目的は、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定です。

本日の会議では、令和4年度から令和7年度までの4年間を期間とした、第3期北斗市教育大綱の策定に向け、委員の皆様のご忌憚のない意見をいただきたいと思っております。

昨年来の新型コロナウイルスやGIGAスクールの推進など、子どもたちを取り巻く環境は変化が著しいですが、そんな厳しい状況の中においても、北斗市の子どもたちが、学業はも

とより、スポーツ、文化、芸術活動において、全道、全国的に活躍しているということは大変素晴らしいと思います。一番は子どもたちの頑張りですが、指導してくださる先生方、学校、家庭、地域が支えている環境があるおかげと考えています。

先日の音楽祭でも、新型コロナ対策が大変であったとは思いますが、各小中学生が素晴らしい演奏、合唱を披露してくれました。実際に見て、聴いて大変感銘を受けました。先ほどもお話したとおり、北斗市はこういった環境が整っています。この環境をより良くしていきたいと考えておりますので、大綱改正案に対する皆様の意見をいただきたいと思っております。

3 出席者の紹介

○ 委員、事務局説明員紹介。

4 協議事項

(1) 北斗市教育大綱の改定について

○事務局より、資料1に従い、教育大綱改定案についての説明。

質 疑 応 答	
福地委員	○SDGsの理念を教育大綱に組み込んでもらい、教育委員としても市民としても心強い。 ○全小中学校児童にタブレットが配付され、どのように活用するのか疑問であったが、浜分小学校を視察し、かなりしっかり活用されていると感じた。 ○シンプルで、良くまとまった大綱と感じた。
教育次長	○昨年度末にタブレット整備が完了していたのと、数カ年の整備計画の中で、ある程度のタブレットが学校に配付されていたことにより、先生方がタブレットに慣れていたということが、しっかり活用されているという評価につながっていると思う。 ○今後は、タブレットをプログラミング教育や、不登校児童の自宅での学習などに活用するとともに、先生方のスキルアップを図っていきたいと考えている。
企画課長	○GIGA スクール構想が進捗し、仮に家庭でのタブレットの活用を考えたとき、回線の問題があるが、北斗市ではNTTが事業主体となり、今年度中に住居地域は、ほぼ100%光回線の整備が終了する予定となっている。
教育長	○ICTプロジェクトチームにて様々なことを協議・検討中であるが、まだまだうまくいっていないので、これからの課題である。

教育長 (続き)	○デジタル教科書が増加してくると、家にタブレットを持ち帰って宿題などを行うことになる。元々は GIGA スクール構想外の部分になるが、今後は家庭のネット環境についても検討が必要。
長内委員	○前回の教育大綱に比べ、大まかな方向性のみの記載となっていることから柔軟な教育大綱になっていると思う。 ○GIGA スクールについて、タブレット授業を視察し、その進化に驚いている。昔、谷川小学校のオンライン教室で授業をした際は、十数人がネットに接続しただけで、動かなくなってしまうが、今日の視察ではタブレットはスムーズにつながっていた。 子供の吸収力はすごいが、先生方の研修は大変だと思う。若手、中堅の先生が頑張っていると思うが、更なる発展につながれば良い。
市長	○今回の教育大綱は、市長が細部まで決めるのではなく、細部は専門の方々が決めていただければという考えから、大きな方向性だけを示させていただいている。
三ツ石委員	○初めて大綱を見た。コンパクトにしたと話があったが、基本方針の2を見るとポイントをしばっており、大変立派な大綱だと思う。子どもたちの学力以外の、人を思いやる心などを育むために、私自身も頑張っていきたいと思う。
伊藤委員	○「音楽のまち・ほくと」を目指す、多種多様な音楽活動の推進とあるが、音楽の持つ力はすばらしいと思う。 バイオリニストの大平さんが上磯小学校に来校し、演奏を聴く機会があったが、子どもたちはとても興味を持って聴いていた。こういった音楽に触れる機会があったことが非常に良かったと思う。
市長	○「音楽のまち・ほくと」をまちづくりのテーマとしているが、北斗市は音楽・スポーツ・芸術、全ての環境が揃っており、それぞれが、やさしさ、強さを育み、感動を与えてくれるものだと考えている。
村上委員	○方針3に、ふるさと「北斗」に誇りをもてる教育の推進とあるが、コロナ禍で、授業時間も少ない中ではあるが、豊かな自然の中で、子どもたちが北斗市を誇りに思えるような体験学習を多く実施し、豊かな心を育てていってほしい。
市長	○体験学習は、座学とは違い、触れたり経験したりすることにより、子どもの視野が広がる。学校によって特色のある体験学習を実施している。特に米作りを田植えから収穫まで経験し、収穫した米で餅を作ったり、ご飯を食べたりしている学校もあり、子どもたちにはこういった経験も必要だと感じている。

(2) その他

- 総務部長から、資料4により、子ども家庭総合支援拠点の概要について説明。

- 総務部長から、次回会議について、パブリックコメントが終了した後に開催する旨説明。

5 閉会
